

大型道路より防災・減災を

松江北道路建設計画・意見交換会

わずか10分間の時間
短縮のために総事業費2



50億円もの税金を投入する「松江北道路建設計画」が今秋にも都市計画の決定手続きに入ることを巡り、日本共産党島根県議団と松江市議団は8月24日、市内で関係住民を交えた意見交換会を開きました。(写真)

松江県土整備事務所、市川淳土木工務部長がルート案の地図を示しながら全線10.6キロの工事計画と今後の流れを説明し、尾村利成県議、田中はじめ市議が議会で

論戦状況について報告しました。尾村県議は、現局面は事業着手の入り口にあると指摘し、「豪雨災害も頻発するも、大型道路建設よりも防災・減災事業こそ進めるべき」と強調しました。

参加者からは「ルート

保育制度の拡充を

福祉保育労組が出雲市へ要望

全国福祉保育労組島根支部(三戸睦執行委員長)

は8月27日、長岡秀人出雲市長あてに保育制度の拡充を求める要望書を提出し、保育現場の実態に則した実効ある施策を講じるよう求めました。

保育士や栄養士ら8人が参加し、日本共産党の後藤由美市議、吉井やすみ市議予定候補が同席。保育士らは「新型コロナウイルスの感染が広がる中、子どもや自分が感染しないか、不安を抱えながら仕

近傍には宍道断層が走り、危険な場所だ」「道路の完成は10年後か20年後で人口減少が進む中で本場に必要道路なのか。県民・市民的な運動を起こすとき」など道路建設の必要性について疑問の声が相次ぎました。

の運賃、輸送費への補助拡充の要望が、隠岐の島町では「50年に一度」の豪雨が島を襲い大きな被害があったこと、ごみ焼却施設の更新が必要でその間2〜3カ月は島で出たゴミを本土まで運んで処理せねばならず、莫大な費用がかかることなど町長さんから伺いました。離島+コロナ・災害という困難に国としての特別の支援が必要なこと、同時にコロナ時代に求められる社会像を垣間見た気が

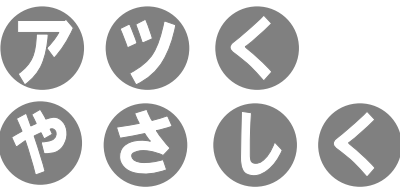
隠岐でコロナ時代の社会像垣間見る

先日、島根県の隠岐の島へ渡りました。本土から60キロ離れ、松江市からフェリーで2時間かかる文字通りの「離



院議員
前議

大平よしのぶ



お話を聞きました。「人口減少を止める」と意気込み、結婚祝金100万円から出産祝金50万円(第三子以降100万円)、新規就農者へ月12万円1年間支給、U・Iターン定住者の新築費用に150万円支援など様々な努力が。その結果、昨年度は出生率が「3」を超え、出生数が死亡数を超える「自然増」も達成。新たに35人定員の村営保育園を建設し、住宅が足りないとのうれしい悲鳴が上がっているとのこと。

懇談が終わり部屋を出ると、庁舎内は電気が消え人の姿がありません。時計を見れば正午過ぎ、村職員の皆さんお昼休みとのことでした。港と役場の行き来にタクシーを利用しましたが、聞けばタクシーは島内でこの一台のみ。普段、コロナ禍で「密」にならぬようにと気をもむ日々。知夫村のこのゆったりとした時間の流れ、ゆとりのある環境はとも新鮮でした。

もちろん課題も山積です。海士町では島内に診療所が一つあるだけでPCR検査も、感染者の保護もすべて本土に移送せねばならず、大変な労力であり緊張の絶えない状況だと聞きました。西ノ島町では航路

党中国ブロック比例リーフ(大平よしのぶ版)ができました。(党島根県委員会HPからダウンロードできます)



事をしていく。保育現場で働く労働者への『慰労金』の支給を出雲市として検討してほしい」「コロナ対応で仕事がさらに増えている。過重負担軽減のために配置基準の改善を」と訴えました。

応対した伊藤功副市長は「感染が拡大する中、も休業することなく社会活動を支えていただき感謝している。県と市で調整し、5万円の協力を支給できるように調整している」と答えました。

地域の話題

商 資材の十分な備蓄を 上代議員が要求

上代議員は「党が取り組んだ市民アンケートでは、二度にわたる市民向けマスクの配布が、アベノマスクがなかなか届かない中、大変喜ばれた。市民要求にこたえているからだ」と指摘。その上で「必要な資材、備品を第二波に備えて十分備蓄を」と質問しました。

狩野健康福祉部長は、2月下旬から医療機関などに7万4千枚、4月末と5月末に市民へ66万枚のマスクを配布したとしながら、「引き続き、マスクや消毒液の備蓄に努めたい」と述べ、「現在マスク

有福温泉の再興へ 基本計画を策定

有福温泉活性化検討委員会が山下市長にあり服温泉の活性化への提言を行いました。有福温泉は、かつては20を超える旅館が軒を連ねていましたが、現在では3つの公衆浴場と3軒の旅館のみとなっており、かつての賑わいは失われています。

提言では、県が整備している有福温泉へのアクセス道路・県道田所国府線について▽県道からつながる温泉街入口に大型バス

用駐車場15台分の整備▽あずまや・イベントスペース・休憩所・照明の整備など魅力アップを図る対策を求めています。(「こうつ民報」より)

美 新型コロナ感染対策 中原議員が質問

中原議員「町外の勤務先や町内で新型コロナウイルス感染症が発生し、出入り困難の場合、勤務先に宿泊、滞在する宿泊料の補助、支援は可能か。

嘉戸町長「まず町外の就職者の実態把握はプライバシーに踏み込んでの情報収集は難しい。町外との往來に注意が必要な場合は、まずは自宅待機、できる限りの不要不急の外出を控えることが、まずは原則。(「中原保彦の議会報告」より)

第41回市民憲法フォーラム
国際平和秩序の構築への模索
 9月19日(土) 14時~16時 県民会館303
 ●講師 牧田 幸人さん(島根大学名誉教授)
 ●資料代 500円
 *コロナ感染状況によって、延期又は中止する場合があります。
 事前に電話でご確認下さい。主催:島根県憲法会議(Tel0852-27-1216)